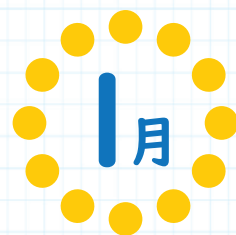


はあもにいホールスケジュール

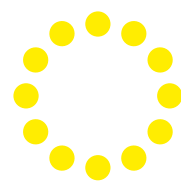
メ …メインホール
多 …多目的ホール

※12月15日現在の情報です。スケジュール等は変更される場合があります。予めご了承ください。

※各催事の内容・チケット入手方法は、主催者へお問い合わせください。



開催日	催事名	主催	開演	問・料金
11 (金)	熊本県高等学校 熊本市地区ダンス発表会	熊本県高等学校体育連盟	14:00	(熊本県高等学校体育連盟)
12 (土)	童謡歌い初め大会	ソガクリエイト	1回目 13:00 2回目 15:30	096-279-3754 (ソガクリエイト)
13 (日)	第5回ひつゆうムジカレ	ひつゆうムジカレ実行委員	18:00	080-3903-6250 有料
16・17 (水)・(木)	平成30年度九州地区 農業大学校プロジェクト・意見発表会	熊本県立農業大学校	16(水)13:00 17(木)9:30	096-248-1188 (熊本県立農業大学校)
19・20 (土)・(日)	第14回JBA ソロコンテスト 熊本県大会	JBA 熊本県部会	両日 9:30	096-356-3271 (JBA 熊本県部会)
19・20 (土)・(日)	第14回JBA ソロコンテスト 熊本県大会	JBA 熊本県部会	19(土)14:00 20(日)9:30	096-356-3271 (JBA 熊本県部会)
24 (木)	「伝える力」を磨く！ コミュニケーション基礎講座 ※要事前予約	はあもにい	10:40	096-345-2550 (はあもにい)
25 (金)	映画「声」先行上映会	キュウピアン	19:00	090-3327-5510 (越智) 有料
26 (土)	中央区PTA 連絡会研修会 ※関係者のみ	中央区PTA連絡会	10:00	096-288-3750 (中央区PTA連絡会)
27 (日)	第42回ビティナ・ ピアノコンペティション受賞者 コンサート	ビティナ熊本南支部	14:00	096-272-5507 (ビティナ熊本南支部)



【熊本市男女共同参画センターはあもにい情報紙】

はあもにい通信

※通信はホームページでもご確認くださいませ

2019.1月号 vol.79

発行日/2018年12月25日

編集・発行/熊本市男女共同参画センター
はあもにい

☎ 096-345-2550

はあもにい講座・催しのご案内

予託 参加には申し込みが必要です。

予託 お子さんをお預かりします。事前予約。
対象年齢・定員はお問い合わせを。

相談受付

行政相談

社会福祉のこと、医療保険や年金のこと、役所の手続きのこと…あなたの悩みを行政相談委員に相談しませんか？

1/7(月) 13:00～15:00
(祝日の場合は中止)

会場 1階応接室 **料金** 無料

相談員 伊藤一敏さん・野口ミナ子さん
(総務省 行政相談委員)

申込 総務省熊本行政評価事務所
☎096-324-1662
☎0570-090110 (行政苦情 110 番)

毎月開催 働き方相談所

就職活動や就業に関する不安、現在の仕事に対する悩みなどに個別に対応します。求人検索も行います(紹介状発行はこの場では行いません)。1歳～未就学児の託児あり(10日前までに要予約)。子ども同席可。

1/16(水) 10:00～16:00
(1人1時間程度)

相談員 ハローワーク相談員

料金 無料

申込 電話で随時受付(開館日の9時～19時)

参加者募集

「伝える力」を磨く！ コミュニケーション基礎講座

予託

自分の気持ちをうまく伝えるために必要なスキルを身につける講座。コミュニケーションの基本と話す時のポイントをプロのアナウンサーから学びます。

1/24(木) 10:40～12:10

会場 2階多目的ホール

対象 おおむね40歳未満の女性

講師 かざと なおこ
風戸 南陽子さん
(フリーアナウンサー)



テレビ熊本(TKU)の元アナウンサー。現在は、熊本を拠点にフリーランスアナウンサーとして活躍中。

定員 50人(先着・要事前予約)

料金 無料

申込 1/5(土)9時から電話で受付

あいうえおかたづけ！ あそぼ！まなぼ！やってみよう！

予託

「片づけなさい」はもう言わない！かたづけかるたや、遊びを取り入れたワークで楽しく「片づけ」について親子で考える講座です。家族それぞれの片づけパターンを見つけて、心も家もすっきりしましょう！



2/3(日) 10:00～正午

会場 2階学習室

対象 小学生とその保護者

講師 井形 純子氏
(片づけ脳力® トレーナー
/ ライフオーガナイザー®)

※片づけ脳力® は一般社団法人日本ライフオーガナイザー協会の登録商標です。

定員 12組(先着・要事前予約)

料金 無料

申込 1/5(土)9時から電話で受付



熊本市男女共同参画センター

はあもにい HARMONY

〒860-0862 熊本市中央区黒髪 3-3-10
TEL : 096-345-2550
FAX : 096-345-0373
http://www.harmony-mimoza.org/
info@harmony-mimoza.org

【開館時間】
ホール・研修室 / 9:00～21:30
情報資料室 / 9:00～19:00
【休館日】
第2・第4月曜日
(祝日の場合は翌日・12月29日～翌年1月3日)

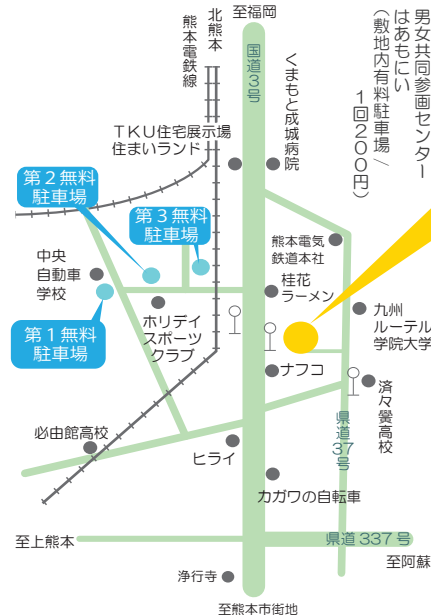


● なるべく公共交通機関の利用をお願いいたします。
◆ 熊本電鉄バスをご利用の場合

熊本電鉄バスをご利用の場合

⇒国道経由(北1、2、3)乗車から
「男女共同参画センターはあもにい前」下車
⇒三軒町経由(北4、5、6、9)乗車から
「済々黉前男女共同参画センター
はあもにい入口」下車

国道経由のバス停ははあもにい目の前です。



第7回ミモザフェスティバル ホワイトリボンラン 2019 熊本拠点ランナー募集



© 公益財団法人ジョイセフ

※ホワイトリボンラン…公益財団法人ジョイセフが主催する妊産婦の健康と命を支援するチャリティランニング大会。

毎年3月8日は女性の権利と地位向上のため、国連が定めた記念日「国際女性デー」。はあもにいではこの日を記念し、3月2日(土)から3月8日(金)までミモザフェスティバルを開催。3月2日は二の丸広場で、途上国の女性を支援するチャリティーイベント「ホワイトリボンラン」を行います。走ることで、女性支援の輪を広げませんか。

3/2(土) 10:00～11:30
(受付9:00～)

会場 熊本城二の丸広場

対象 どなたでも

定員 70人(要事前予約)

料金 小学生まで1,500円 中学生以上3,000円
※半額を途上国の女性支援にあてます。中止・キャンセルによる返金は行いません。あらかじめご了承ください。

参加賞 ホワイトリボンラン公式Tシャツなど

申込 ホームページ内の申込フォームで受付中(1/20締切)

主催 熊本市男女共同参画センターはあもにい
公益財団法人ジョイセフ



昨年実施風景

エアコン改修工事に伴う休館 および貸室利用停止日について

エアコンの改修工事を下記の期間で行います。それに伴い、会館の臨時休館、喫茶室の休室、貸室の一部利用停止が発生いたしますのでお知らせします。

工事期間：2018年12月3日(月)
～2019年3月15日(金)※予定

会館の臨時休館日、喫茶室の休室日は以下の通りです。(通常休館日は裏面参照)

・はあもにい臨時休館日
2019年1月29日(火)・2月13日(水)

・喫茶まいペース
2018年12月11日(火)～28日(金)
2019年1月4日(金)

また、2階～4階の貸室のご利用を2019年1月～3月の間の一部期間、停止させていただきます。
工事状況によっては、貸室停止日程等が変更になる場合があります。ご了承ください。



はあもにいの事業や活動をご紹介します

心をひとつにみんなでジャンプ！ それぞれをみとめあうフェスタ

今年のはあもにいフェスタは11月10日(土)・11日(日)に32の市民グループと協働で実施しました。

5月から会議を重ね、当日は稲垣えみ子さんによる記念講演会や映画鑑賞会、男女共同参画クイズラリーの他、市民グループの企画するワークショップや講習会、バザーなどを行い、2日間でのべ3,200人を超える来場者がありました。

今年のキャッチフレーズ「心をひとつにみんなでジャンプ～あらゆる垣根をこえて～」は一般公募し、黒髪小3年生の野田紫保乃さんが考案したものに、参加団体の案を加えて完成しました。

去年のフェスタとの大きな違いは、クイズラリーの受付会場が2階多目的ホールに変わったこと。多目的ホールには「忍者修行」をテーマに、忍者衣装を作るコーナー、手裏剣遊びのコーナー、どんでん返しを楽しむコーナーなど、市民グループ「熊本転入ママの会」が企画した手作りの遊び場が登場し、クイズラリーと合体。小さなお子さんから高齢の方まで楽しんでいただけたようでした。

また、それぞれの団体が男女共同参画に関する様々な問題提起を行うパネル展示やワークショップ、寸劇、講演などにも多くの参加がありました。

たくさんのご来館、ありがとうございました。



元朝日新聞記者の稲垣えみ子さんによる講演会は、申込当日に定員に達するほどの人気。当日の会場は、稲垣さんの飾らぬ語り口にはほのぼのとした空気に包まれました。



支援につながるバザーや食のブースが所狭しと並び、たくさんの人が集まった1階エントランス



はあもにい通信でおなじみ、「男女共同参画マンガ」も多目的ホールに掲示。クイズラリーのヒントになりました

はあもにいフェスタ 2018

心をひとつにみんなでジャンプ～あらゆる垣根をこえて～

2019年11月10日(土)・11日(日)

参加団体：32の市民団体ほか

参加者：2日間のべ約3,200人

ふたりは同時に親になる 産後の「すれ」の処方箋

狩野さやか／著 猿江商會

子どもが生まれてから妻はなんだかイライラしている…。不機嫌になる理由は、産後の「環境の激変」と夫側の「環境の変わらなさ」によって生じるふたりの間の「すれ」だと言います。この「不機嫌ループ」を断ち切り、すれ違いを最小限にするための、配偶者が知るべきこと、アプローチを変えるヒントが満載。

「応援」が欲しいんじゃない、「仲間」が欲しい!! 妊娠・出産を経て受けた体の大きなダメージや、授乳をはじめ継続的な育児による睡眠不足等から、ストレスと不安を常に抱える女性たち。夫婦だからこそ、相手の立場で考え、思いやりと想像力を持つことが重要だと教えてくれます。「無関係な自分」から一歩進むためにまずは本書を開いてみませんか。男性だけでなく夫婦共に読むことをお勧めします。



情報資料室
おすすめ本

今月のあ・そ・び

「パン粉粘土の鏡もち」

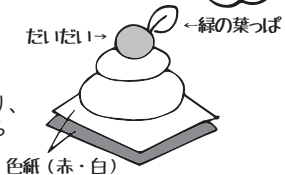
①パン粉、色水2種(白とオレンジの食紅に水を混ぜる)、緑の画用紙、折り紙(赤と白)を準備します。

②それぞれの色水をパン粉に混ぜます。(割合は色水3：パン粉4)

③できあがったパン粉粘土をこねて丸めます。白粘土は大小のおもちを作り、オレンジ粘土は橙(だいたい)を作ります。

④緑の画用紙でだいたいはっぱを作り、赤白の折り紙をおもちの下に敷いたらできあがり!

あけましておめでとう



毎月恒例

よんでよんでの会

幼児室スタッフによるおすすめ絵本の読み聞かせのほか、楽しい手遊びやふれあい遊び、紙芝居など!

1月8日(火)11時～11時40分 1階口ビー※予約不要

幼児室より



館長 坂本ミオ

「手帳」

新年用の手帳や日記、カレンダーのすがすがしさはこの時季ならではですね。私の手帳には仕事の予定が黒いペンで記入されているのは、季節の家事・衣替えや寝具類、冷暖房機器、リビング用品の手入れや交換など「暮らし」の予定や記録です。また、毎日の業務記録日記代わりのメモの下には、夕食のメニューを書き入れています。

そうやって1年近くが過ぎた年末のある日、新年用に用意した美しい花の図柄のカレンダーを眺めていて、涙がぼろぼろとこぼれたのです。家事も育児もいやではないけれど、何をしたらのか分からないまま毎日が過ぎるようで、昨日と今日の違いが分からないように、自分の存在感があまりに不確かです。日々の充実や喜びを表現するような、その美しい花のカレンダーがとても残酷に見えました。

新年を迎え、私は黒い何でもない手帳を手に入れ、家事・育児の記録を書きとめ始めました。ただ「私はここで生きている」「成長している(はず)」と、記録したかった。自分に言いたかったのだと思います。

家事や育児はとても大事な仕事ですが、できて当たり前と、評価の対象になりにくいものです。「誰も評価しなくていいから、自分は自分を評価してあげたい」。私はそのためのデータを積み上げたかったのかもしれない。

私は今も手帳が好きです。そのときそのときの自分がそこにいる。新しい年も、そこに成長の跡を残せるというなと思っています。

※2018年は大変お世話になりました。新しい年もどうぞよろしくお願いいたします。

ファミリー・サポート・センター〈熊本〉



子どもを預けたい方と預かりたい方とで作られる会員組織です。はあもにいの入り口から入って右側スペースに事務局があります。

お気軽にお問い合わせください。※利用には登録が必要です

月曜日～土曜日 9:00～17:00

☎096-345-3011

はあもにい総合相談室のご案内

<重要>はあもにい総合相談室の電話番号等が変わります。

変更日 2019年1月15日(火)～

(旧)男女共同参画センターはあもにい総合相談室

(変更後)男女共同参画課相談室

場所:市庁舎12階男女共同参画課内

新電話番号:096-352-8306(一般相談専用 火～土 10時-16時)

096-328-6600(心理相談専用 第2火曜 13時-16時)

096-352-2587

(法律・心理相談 面談予約専用 月～金 10時-16時)

「男と女のさんかく劇場」

自分を生かす②「はじめの一歩」



画/ブンノ絵巳

～マンガで考える 「男女共同参画」～

前回、知り合いがパートに出たことに触発され、自分も何かしたい!と一念発起した料理好きな女性。条件の合う就職先が見つからず、彼女がたどり着いた先は「子ども食堂」でした。

「子ども食堂」は、貧困家庭や孤食の子どもに無償または低価格で食事を提供し、安心して過ごしてもらおう場所のこと。その数は全国に急速に増加しています。

背景にあるのは、日本の子どもの7人に1人が貧困状態にある(厚労省調査)という現状。特に、ひとり親家庭、その中でも母子家庭の困窮は、先進国の中でも最悪の状況といわれています。